

第7章 事業の推進体制と管理運営

1. 計画事業の推進

特別史跡大坂城跡の本質的価値を構成する城郭遺構や近代以降の歴史遺産を確実に後世へ継承していくためには、史跡内に存在する重要文化財等歴史的価値の高い建造物や石垣遺構を良好な状態で維持する保存と、特別史跡大坂城跡に顕在・潜在する本質的価値を最大限に引き出し、市民や来訪者が広く共有する活用を、双方均衡を図りながら適切に進めることが重要である。

史跡の保存・活用を進めるにあたっては、日常的な維持管理のほか、本質的価値を構成する要素の維持・継承を図る修復や、多様な活用に向けた空間・施設整備を、適切かつ効果的に実施する必要がある。保存管理計画及び本計画で定める整備方針・事業計画を関係者間で共有し、これを適切な実施手法の選択や着実な事業実施につなげていくことが重要で、さらに事業の実施過程を定期的に点検して課題・問題点等を洗い出し、方針・計画や事業の改善を行うための整備推進体制を構築し、そこでの議論を深めた上で適切に整備を推進する。

2. 整備推進体制

(1) 管理運営状況

大坂城跡は、昭和28年（1953）年3月31日に史跡指定され、同年8月に大阪市が管理団体に指定された。また昭和28年6月13日には13棟の建造物が重要文化財に指定され、昭和32年（1957）年にはこれら重要文化財建造物の管理団体としても大阪市が指定された。その後、昭和44（1969）年には、文部省（当時）所轄国有財産取扱規定に基づき、特別史跡指定地の国有地に所在する石垣の維持及び保護に関する事務が特別史跡及び重要文化財の管理団体である大阪市に分掌された。

特別史跡大坂城跡は都市公園法に定める都市公園である大阪城公園の中に位置している。史跡の本質的価値を構成する要素である石垣・堀等や、歴史的建造物については、公園管理者である大阪市建設局が所管し、豊臣期石垣公開施設の完成後、施設内で展示する豊臣期石垣については大阪市経済戦略局が所管する。

近代以降の大阪城特有の歴史的価値を構成する要素のうち、大阪城天守閣は博物館相当施設として大阪市経済戦略局が所管している。館内の展示など学芸業務については、経済戦略局観光部観光課の学芸員が担い、管理・運営については後述する指定管理者が行っている。また、旧第四師団司令部庁舎は大阪市建設局が、配水池及び配水管等は大阪市水道局が所管している。

史跡指定地における植栽や公園施設等のその他の要素については、一部を除き、大阪市建設局が所管している。

平成27年（2015）4月からは指定管理者制度を導入し、史跡の本質的な価値を構成する石垣や歴史的建造物の維持管理を含む、一部の施設を除く大阪城公園の維持管理は、PMO事業者である大阪城パークマネジメント共同企業体が担うこととなった（指定管理期間は令和17年（2035）3月まで）。これにより、施設等の日常的な点検、補修・修繕についてはPMO事業者が行い、大規模な改修は市が実施することとしている。

（2）整備実施主体

上記の管理運営状況を踏まえ、史跡の本質的価値の保存・活用に向けた大規模な整備は施設所管部局が、維持管理に係る整備はPMO事業者が実施することを基本としている。これらの整備にあたっては、大阪市教育委員会事務局文化財保護課が助言等を行うとともに、文化庁から権限移譲された内容についての現状変更の許認可、及び文化庁への申請等の進達を行う。

なお、整備の実施にあたっては、文化財保護の観点からより適切な内容となるよう、計画段階から文化庁や有識者等へ相談を行うことを基本とし、保存管理計画及び本計画に定める整備方針や文化庁・大阪府の指導・助言を踏まえ、関係部局及びPMO事業者が定期的実施事業に係る情報共有の場を持ち、関係者が連携して事業を進めることとする。

また、特別史跡の整備にあたっては歴史的な背景や経緯を踏まえて行うことが前提であり、最新の調査・研究成果に基づいて適切に行う必要がある。そのため、大坂城跡の調査研究に関わる大阪城天守閣・大阪歴史博物館・大阪公立大学・大阪市教育委員会文化財保護課等が連携して定期的な情報交換を行うこととする。

また、必要に応じてこのほかの大学や研究機関、市民、NPO 団体、民間企業等の多様な主体と連携を図り、より効果的な整備につなげる。

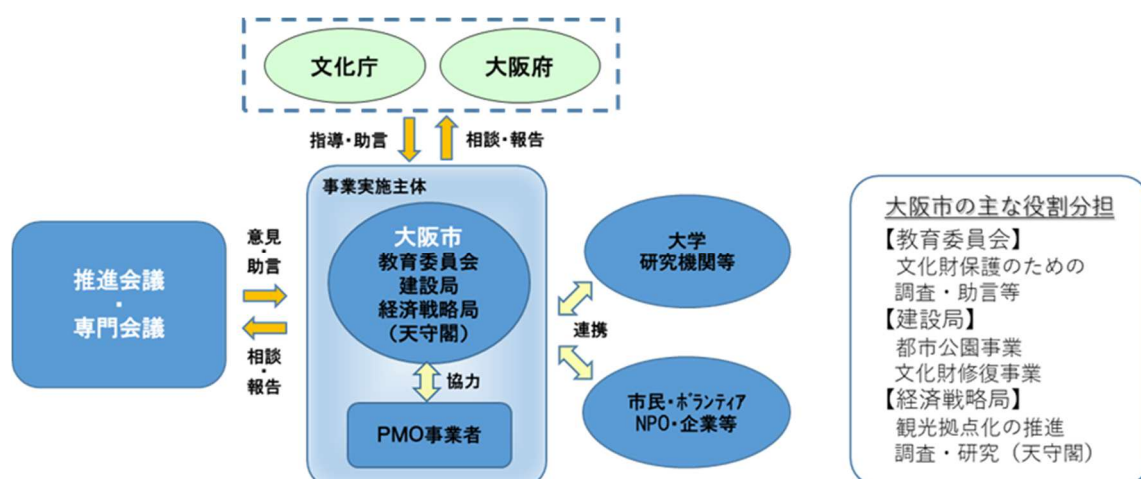


図 165 特別史跡大坂城跡整備推進体制イメージ

(3) 特別史跡大坂城跡整備推進会議の設置

整備は保存管理計画及び本計画で定める理念や方針に則るとともに、学術的な知見に基づいて進めることが必要であり、整備の事業計画や具体的手法の検討段階には、専門的な知見を持つ外部有識者から意見を聴取することが重要である。そのため、外部有識者で構成する「特別史跡大坂城跡整備推進会議」（以下、推進会議という）を新たに設置し、特別史跡大坂城跡の整備全般について検討するとともに、専門的見地からの意見・助言を得ることとする。個別の整備事業の実施にあたり、より専門的な検討が必要な場合には、専門会議を設置するなどし、事業の検討を進める。

推進会議は、関係部局（教育委員会事務局、建設局、経済戦略局）を事務局として定期的開催することとし、専門会議のメンバーの参加・協力も得ながら検討状況の共有・意見交換を行う。事業内容について助言するとともに、事業計画の進捗状況等を踏まえた課題や対応について検討を行い、概ね5年ごとに行う本計画見直しに向けた意見のとりまとめを行う。

なお、現在、特別史跡大坂城跡には、徳川期石垣の修理について検討する「特別史跡大坂城跡石垣修復検討会議」（平成16年度（2004）設置）、地下遺構の豊臣期石垣の公開について検討する「豊臣石垣保存公開検討会議」（平成24年（2012）設置）の2つの専門会議が設置されている。本計画に示した、徳川期石垣の保存修復及び豊臣期石垣公開に関連する整備についてはこれらの会議において検討・意見聴取を行うこととする。また、状況に応じ、個別に検討が必要となる事業について専門会議を設置する（植栽、建造物、観光、情報発信など）。推進会議の設置にあたっては、既存の専門会議の体制も考慮し、効果的な会議となるような体制をつくる。

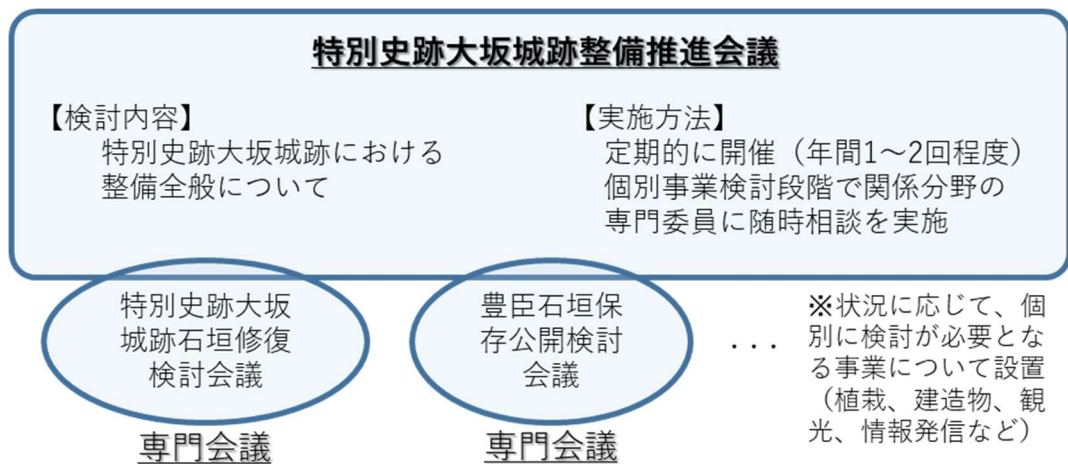


図 166 整備推進イメージ

◆引用・参考文献◆

- 天野光三他 1997『建設文化としての大坂城石垣築造における土木施工技術の土木史的調査研究 平成7・8年度
文部省科学研究（基盤研究（B））研究成果報告書』建設文化として大坂城石垣築造に関する総合研究会
- 伊藤毅 1987「摂津石山本願寺寺内町の構成」『近世大坂成立史論』生活史研究所
- 内田九州男 1982「徳川期大坂城再築工事の経過について」『大坂城の諸研究』名著出版
- 内田九州男 1985「幕末に写された大坂城」『日本名城集成 大坂城』小学館
- 内田九州男 1989「豊臣秀吉の大坂建設」『まちに住まう-大阪都市住宅史』平凡社
- 大阪くらしの今昔館 2012『大坂の陣と大坂城・四天王寺・住吉大社の建築 世界遺産をつくった大工棟梁-中井大
和守の仕事（Ⅱ）』
- 大阪公立大学大坂城研究会 2023『【築城四百年】徳川大坂城をさぐる一城・人・城下町一』清文堂
- 大阪市 1935『大阪市風水害誌』
- 大阪市 1961『重要文化財大阪城 千貫櫓・焰硝蔵・金蔵修理工事報告書 付乾櫓』
- 大阪市 1965『重要文化財大阪城一番櫓修理工事報告書』
- 大阪市 1966『重要文化財大阪城六番櫓修理工事報告書』
- 大阪市 1969『重要文化財大阪城 大手門・同南方塀・同北方塀・多聞櫓北方塀・多聞櫓・金明水井戸屋形・桜
門・同左右塀修理工事報告書』
- 大阪市 1974『特別史跡大坂城跡城南石垣修築工事報告書』
- 大阪市 1992『特別史跡大坂城跡桜門枳形石垣修復工事施工報告書』
- 大阪市 1995『特別史跡大坂城跡山里曲輪北側枳形石垣修復工事報告書』
- 大阪市 1997『甦った大阪城「平成の大改修」写真集』
- 大阪市 2000『特別史跡大坂城跡 石垣修復工事施工報告書 桜門石垣修復工事 山里曲輪石垣修復工事』
- 大阪市 2003『特別史跡大坂城跡石垣調査報告書』
- 大阪市 2004『新修大阪市史』資料編第1巻
- 大阪市 2006『特別史跡大坂城跡二の丸東南側石垣修復整備報告書』
- 大阪市 2006『大阪市景観計画』
- 大阪市 2006『新修大阪市史』資料編第5巻
- 大阪市 2009『緑の基本計画』
- 大阪市 2012『大阪都市魅力創造戦略』
- 大阪市 1988～96『新修大阪市史』第1～10巻
- 大阪市 2013『特別史跡大坂城跡保存管理計画』
- 大阪市教育委員会 1997『大阪市の文化財』
- 大阪市教育委員会・（財）大阪市文化財協会 2006『大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』2005
- 大阪市教育委員会・（財）大阪市文化財協会 2008『大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』2006
- 大阪市教育委員会・（財）大阪市文化財協会 2009『大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』2007
- （財）大阪市公園協会 1996『大阪市公園史』（1）
- （財）大阪市公園協会 2000『大阪市花と緑の行政史』
- 大阪市史編纂所 2008『大坂城再築関係史料 大阪市史史料』第71輯
- 大阪市水道事務所 1899『大阪市水道誌』
- 大阪市水道局 1956『大阪市水道六十年史』
- （財）大阪市文化財協会 1981『難波宮跡研究調査年報』1975～1979.6
- （財）大阪市文化財協会 1985a『特別史跡大坂城跡』Ⅰ
- （財）大阪市文化財協会 1985b『大阪城西の丸庭園内整備事業に伴う大坂城跡調査（OS84-4）略報』
- （財）大阪市文化財協会 1987『特別史跡 大坂城跡』Ⅱ

(財) 大阪市文化財協会 1988『大坂城跡』Ⅲ
(財) 大阪市文化財協会 1992『難波宮址の研究』第9
(財) 大阪市文化財協会 1994『大阪市建設局による建設工事に伴う西の丸庭園内試掘調査(OS94-28)略報』
(財) 大阪市文化財協会 2000『難波宮址の研究』第11
(財) 大阪市文化財協会 2002『大坂城跡』Ⅵ
(財) 大阪市文化財協会 2003『大坂城跡』Ⅶ
(財) 大阪市文化財協会 2009『平成20年度特別史跡大坂城跡整備事業に伴う大坂城跡発掘調査(OS08-13)報告書』
(財) 大阪市文化財協会 2010『平成21年度特別史跡大坂城跡整備事業に伴う大坂城跡発掘調査(OS09-10)報告書』
(財) 大阪市文化財協会 2011『平成22年度特別史跡大坂城跡整備事業に伴う大坂城跡発掘調査(OS10-12)報告書』
(財) 大阪市文化財協会 2012『平成23年度特別史跡大坂城跡整備事業に伴う大坂城跡発掘調査(OS11-10)報告書』
大阪市ゆとりとみどり振興局 2007『平成18年度大阪城公園樹木調査業務報告書』
大阪市ゆとりとみどり振興局 2012『大阪城公園生き物環境保全活用策報告書』
大阪城修復委員会 1953『大阪城はこのすがた 市民の手で古文化財をまもろう』
大阪城修復委員会 1955『大阪城-修復記録-』
大坂城址研究会 1953・54『大坂城址の研究 研究予察報告第一・二』
大阪城天守閣 1973『大阪城南外濠々底遺構発掘調査概報』
大阪城天守閣 1977『豊臣時代大坂城遺構確認調査概報』
大阪城天守閣 1995『浪花百景-いま・むかし-』
大阪城天守閣 1998『幕末の大坂城-將軍家茂・慶喜の居た城-』
大阪城天守閣 2001『大阪城天守閣復興70周年記念 大阪城の歴史』
大阪城天守閣 2002『大坂再生-徳川幕府の大坂城再築と都市の復興-』
大阪城天守閣 2004『大阪城の近代史』
大阪城天守閣 2008『徳川大坂城-西国支配の拠点-』
大阪城天守閣 2008『描かれた大坂城・写された大阪城』
大阪城天守閣 2011『大阪城天守閣復興80周年記念天守閣復興』
大阪城天守閣 2013『大阪城はこの姿-戦災からの復興、整備、そして未来へ-史跡・重要文化財指定60周年記念』
大阪城天守閣 2017『幕末大坂城と徳川將軍』
大阪城天守閣 1973～『大阪城天守閣紀要』第1号～
大阪市立博物館 1996『大阪の町と本願寺』
(財) 大阪都市協会 2006「特集 転変 大阪城」『大阪人』第64巻4月号
大阪市都市住宅史編集委員会 1989『まちに住まう-大阪都市住宅史』 平凡社
(財) 大阪21世紀協会 1983『公式ガイド 大阪城 櫓・蔵』 清文堂
大阪府教育委員会 2007『大阪府の近代化遺産 大阪府近代化遺産(建造物等)総合調査報告書』
(財) 大阪府文化財調査研究センター2002『大坂城址Ⅱ 大阪府警察本部庁舎新築工事に伴う大坂城跡発掘調査報告書』
(財) 大阪府文化財調査研究センター2006『大坂城址Ⅲ 大阪府警察本部棟新築2期工事に伴う発掘調査報告書』
(財) 大阪文化財センター 2002『大坂城跡発掘調査報告Ⅰ 大阪府庁舎・周辺整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
大阪歴史学会編 2009『大坂城再築と東六甲の石切丁場』ヒストリア別冊
大阪歴史博物館 2013『特別展 天下の城下町 大坂と江戸』
追手門学院 2008『いのちの城・大阪城公園の生きもの 追手門学院創立120周年記念事業大阪城プロジェクト調査報告書』
追手門学院大阪城プロジェクト 2008『大阪城ネイチャーウォッチング』 朝日新聞出版
岡本良一 1950『大阪城と四天王寺』大阪市経済局観光課

岡本良一 1970『大阪城』 岩波書店

岡本良一編 1982『大坂城の諸研究』日本城郭史研究叢書 8 名著出版

岡本良一編 1985『日本名城集成 大坂城』 小学館

小野 清 1899『大坂城誌』

加藤理文他 2008『図説よみがえる名城漆黒の要塞 豊臣の城』 学習研究社

北川央 2011『大阪城ふしぎ発見ウォーク 〈増補版〉』

北野博司 2011「天下普請にみる石垣技術」『金沢城研究』第 9 号 石川県金沢城調査研究所

ケンペル 斎藤信訳 1977『江戸参府旅行日記』 東洋文庫 303 平凡社

酒井一光 2007「大阪城天守閣復興と城内の聖域化ー「大大阪」シンボルの誕生」『大大阪イメージ 増殖するマンモス／モダン都市の幻像』 創元社

櫻井成廣 1970『豊臣秀吉の居城ー大坂城編』 城郭資料館出版会

櫻井成廣 1981『戦国名将の居城』 新人物往来社

椎原兵市 1932「大阪城趾の公園計画」『建築と社会』昭和 7 年 7 月号

築城史研究会編 2006『大坂城 石垣調査報告書 (二)』

徳川時代大坂城外郭関連遺構発掘調査団 1994『徳川時代大坂城外郭関連石垣遺構調査報告』

中村博司 2008『天下統一の城・大坂城』 新泉社

中村博司 2018『大阪城全史ー歴史と構造の謎を解く』ちくま新書

大阪市立大学難波宮址研究会 1960『難波宮址の研究予察報告』第 3 号

仁木宏 1994「大坂石山本願寺寺内町の復元的考察」『大坂と周辺諸都市の研究』

仁木宏 2006「戦国時代摂津・河内の都市・交通」『難波宮から大坂へ』和泉書院

藤井重夫 1982「大坂城石垣符号について」『大坂城の諸研究』

藤田実 1996「大坂石山本願寺寺内の町割」『大阪の歴史』47 号

古川重春 1931『錦城復興記』 ナニワ書院

史跡等の在り方に関する調査研究会・文化庁文化財部記念物課 2004『史跡等整備のてびきー保存と活用のためにー』 文化庁記念物課

松岡利郎 1985「徳川再築大坂城の本丸御殿」『日本名城集成 大坂城』 小学館

松岡利郎 1988『大坂城の歴史と構造』 名著出版

三浦正幸 2001『CG 復元よみがえる天守』別冊歴史読本第 26 巻 6 号 新人物往来社

三浦正幸 2005『城のつくり方図典』 小学館

宮上茂隆 1967「豊臣秀吉築造大坂城の復元的研究」『建築史研究』37

宮上茂隆 1985「秀吉築造の大坂城」『日本名城集成 大坂城』 小学館

宮本雅明 1993「大坂城下町の形成」『図集日本都市史』 東京大学出版会

村川行弘 1970『大阪城の謎』 学生社

村山朔朗 1984「大坂城の地盤調査と地下石垣の発見」『大阪城天守閣紀要』12 号

渡辺 武 1975「現代版“大阪城の抜け穴” 大阪城内旧陸軍防空壕について」『上方芸能』41 号

渡辺 武 1983『図説再見大阪城』 (財)大阪都市協会

渡辺 武・内田九州男・中村博司 1983『大阪城ガイド』 保育社

渡辺 武 1989「徳川幕府の大坂城再築」『新修大阪市史』第 3 巻

渡辺武他 1994『大坂城』[歴史群像] 名城シリーズ① 学習研究社